

市民と議会を結ぶ架け橋

議会 上野原市 だより

No.47

平成28年
11月発行

定例会で決まった主なこと……	2
平成27年度決算……	4
特別企画……	9
一般質問……	10
市民の声・議会活動など……	16



祝

上野原西中学校吹奏楽部
西関東吹奏楽コンクール金賞受賞！

9月 定例会

定例会で決まった主なこと

平成28年第3回定例会は、9月5日（月）から9月27日（火）までの23日間の会期で開催されました。

提出された議案

市長提出議案	25件
議員提出議案	3件
請願	4件

議案名・議決結果等は8ページをご覧ください。

条例 改正

（仮称）新上野原保育所の名称

「上野原こども園」に決定

上野原第一保育所・第二保育所及び島田保育所の3つの保育所は平成29年3月末日をもって閉所となり、同年4月、上野原こども園が開園されます。新たに園の名称や住所を条例に加えるなど、所要の改正が行われました。

契約 締結

（仮称）上野原市総合福祉センター 建設工事契約締結を可決

契約金額	10億299万6000円
契約の相手方	甲府市飯田4丁目10番27号 長田組土木株式会社



名称が刻まれた上野原こども園の正面玄関

■ 主な質疑

Q 当初は、桐原保育所も統合される予定だったと思うが、どうなったのか。

A 桐原保育所については、存続の要望がありましたので、地域の事情を考慮し、統合は1年先送りし、29年度中に方向性を出していく予定です。



（仮称）上野原市総合福祉センター建設予定地

■ 9月27日の定例会最終日、総務産業常任委員長の報告（可決すべきもの）に対し、異議がありませんでしたので、起立採決した結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

補正
予算

区管理の防犯灯のLED化

補助金5048万円を増額



LED化された防犯灯

■区で管理する防犯灯のLED化を推進するため、今年4月1日に創設した補助事業です。蛍光灯式防犯灯をLED化することで、区や自治会が負担する電気料などの維持・管理費が抑えられます。また、地球温暖化防止につながることも期待されます。

ごみ焼却施設の修繕費

4722万3000円を増額



クリーンセンターの焼却施設

■1号炉ガス冷却室の(※1)コンニカル耐火物の修繕や、2号炉(※2)ストーカの駆動用油圧装置の修繕を実施し、施設の補修と保守管理に努めます。

(※1) コンニカル耐火物：耐火レンガ
(※2) ストーカ：火格子を階段状に並べた燃焼装置

請

願

採択された請願

◆協同労働の協同組合法（仮称）の速やかな制定を求める請願書

協同労働という働き方に見合った法人格を認め、法的保護が受けられるよう社会的認知を求める協同労働の協同組合法（仮称）の制定に向け、意見書の提出を求めるものです。

◆教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

「教職員定数改善の推進」「義務教育費国庫負担制度の堅持と国負担割合を2分の1に還元すること」と「地方交付税を含む国の教育予算を拡充すること」についての意見書の提出を求めるものです。

◆東日本震災自主避難者への支援拡充を求める意見書の提出を求める請願

東日本震災の発生から6年。平成29年3月末日をもって自主避難者の方が住む住宅の無償提供の終了が明らかとなったことから、国や県に対し、住宅の供与延長も含め、居住継続できる支援策を求める意見書の提出を求めるものです。

※以上3つの請願については、関係省庁に市議会として意見書を出しました。

不採択となった請願

◆所得税法第56条廃止の意見書の提出を求める請願書

日本の税制は、所得税法第56条により家族従業者の働き分を必要経費として認めていないため、同法第56条を廃止する意見書の提出を求めるものです。

27年度 決算

一般会計・特別会計歳出総額

前年度比3.2%増

192億6348万5343円

9月16・20・21日の3日間、決算特別委員会を開き、昨年4月から今年3月までの1年間に使われた市のお金について、無駄のない使い方を行っているかどうか、また、行った事業における成果などについて、時間をかけて審議しました。

その結果、一般会計及び特別会計歳入歳出決算については異議があり、採決した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。病院事業会計と病院事業の資本金の額の減少については、全会一致で認定・可決すべきものと決定しました。



塵芥処理費

3億1635万円

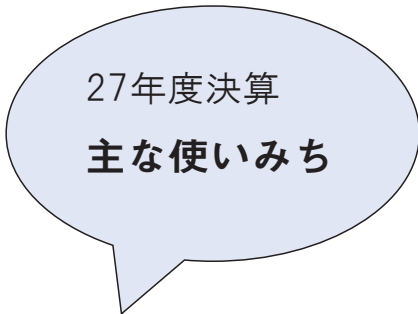
焼却炉が造られてから19年が経ち、長く使うために修繕費がかさんでいます。近隣市町村との共同処理やごみ減量化に向けた取り組みが課題です。



認定子ども園費

1347万円

県下初の公立認定子ども園（巖子ども園）がオープンしました。支出の大部分を占める正規・臨時職員の人件費は別途総務課扱いで支出されています。



※千円単位は切り捨て



情報通信基盤整備事業費

6937万円

情報通信基盤整備事業設備の保守管理委託料や、行政自主放送番組作成業務委託料が主な支出になっています。それぞれ(株)UBCに業務委託しています。



子ども医療費助成事業費

6122万円

中学3年生まで延べ2万8106件の医療費助成を行いました。他にも重度心身障害者医療費助成(9454万円)、ひとり親家庭医療費助成(895万円)も行っています。



上野原駅周辺整備事業費

4億9775万円

財源として、国庫補助金1億8032万円、合併特例債2億7200万円が充当されました。平成30年3月完成を目指し、整備を進めています。

委員会で
出された

主な

質 疑 意 見



意見 学童保育事業の運営が学校法人に委託されていますが、賃金の支払いだけが委託先から支払われ、実質的な運営はそれぞれの学童保育の指導員さんたちが行っています。実態に合わせる必要があります。実態に合わせる必要ではないでしょうか。

Q 社会資本総合整備交付金の交付率はどうなっているのでしょうか。

A 例えば道路の場合、本来なら55%が国からの交付金ですが、国も各自治体からの申請状況が多い場合には、交付率が減少する場合があります。

Q 出産奨励祝金の実績は。

A 123名で、1810万円です。第1子5万円、第2子10万円、第3子以降50万円の祝金が出ます。人口減少に歯止めをかけ、地域を活性化するための事業です。

意見 図書館運営費で、建物その他維持管理に多くの経費が掛かるのは理解できます。しかし一方で、文化溢れる上野原市とするならば、全体予算に対する新しい図書購入のための費用の割合が少ないように思います。

意見 塵芥処理費である可燃物の収集や焼却施設の維持管理等に、3億1635万5675円とある。そのうち焼却炉の修繕費も多額な費用がかかっている。今後はごみの減量化をもっと検討すべきではないか。

Q スクールバスの空き時間は、教育特区を申請し、幅広い利活用を図ったかどうか。

A スクールバスは運用規定があるので、その中で規制を解除し、利用ができるものがあれば運用の中で対応したいと思います。

Q ふれあいパーティ等の婚活イベントを更に活性化させるために、自然の里等を利用して、県との連携を図ったかどうか。

A 過去に2度実施しています。準備・時間・費用等の状況で行われていないが、今後検討します。

意見 税金の滞納については、公平の観点から厳しく催告して、それでも納付がされないのであれば、手続きにあるように、差し押さえや公表を通告して実施すべきである。



建設中のごみ処理場を視察

文教厚生常任委員会

視察先 山梨県笛吹市
甲府峡東地域ごみ処理場(建設中)
境川一般廃棄物最終処理場

日 時 平成28年7月27日(水)

「ごみの減量化」の取り組みを視察

ごみ袋有料化の検討を

笛吹市は、平成16年10月に5町1村で合併、18年8月に芦川村を編入しました。

合併後は、ごみの減量化に取り組む、27年度までに30%減量を達成しています。有料指定ごみ袋の導入とごみを7種類に分別することを徹底し、53%減量を目標に取り組まれており、本年11月からJAや商工会加盟店で有料指定ごみ袋の販売を開始し、来年4月には全て有料指定ごみ袋に切り替えるとのことでした。

ごみ袋導入は、廃棄物減量等推進審議会の諮問・答申を受け、議会・各地区の地域審議会・環境委員や女性団体に加え、中学1年生の授業に出向き説明を行うなど、分別とごみ袋の必要性について子どもを通して親にも理解を得る活動を行っていました。

当市においても、ごみ袋の有料化の検討を含め、市民の意見や課題を集約する必要があるため、ごみ問題を検討する組織を早急に立ち上げるよう、当局に強く要望しました。



あきる野市議会より説明を受ける

議会だより編集常任委員会

視察先 東京都あきる野市
あきる野市議会

日 時 平成28年8月12日(金)

見やすい議会だよりの編集を学ぶ

特集記事のシリーズ化を検討

平成25年2月にリニューアルされた、あきる野市議会だより「ギカイの時間」は、市内外から高い評価を受け、同年11月の第8回マニフェスト大賞において優秀賞を受賞されました。

「ギカイの時間」は、行政用語は分かりやすい言葉に置き換え、知らせたい量と読める量には差があるということの認識から文字数を大幅に抑え、斬新で読みやすい紙面となっていました。

また、号ごとに市民との座談会をシリーズ化した特集ページが企画され、表紙は特集記事で取材された人を掲載し、裏表紙には「小学生が夢を語るコーナー」を設けるなど、議会特有の堅いイメージを払拭する工夫がされておりました。

今後は、市民参加による特集記事の掲載を検討するとともに、記事全般のあり方について改善を行い、市民の皆さまに「より読みやすい」議会だよりをお届けしたいと思っております。

委 員 会 の 審 査

※委員会に付託された議案名は、8ページの議決結果等一覧表を参照ください。



現地で市の担当者より説明を受ける

総務産業常任委員会

日 時 平成28年9月7日(水)

市道路線の変更

市道南裏線を現地調査

市道南裏線の現地調査

道路の機能・利用状況から、市道南裏線の終点を変更し路線の延長を行うものです。今後のためにしっかりと境界線を定め、市と住民との協議を詰めてほしいという意見が出されました。

委員会の審議結果

■賛否のあつた議案
議案第95号（仮称）上野原市総合福祉センター建設工事請負契約締結について

中身がまだ見えていないので賛成できない等の意見が出され、起立採決した結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。

請願1号 所得税法第56条廃止の意見書の提出を求める請願書

白色申告から青色申告に変更することで解決できるとの意見が出され、起立採決した結果、全会一致で不採択とすべきものと決定しました。

■その他、委員会に付託された議案13件及び請願1件は、いずれも全会一致で、原案どおり可決・採択すべきものと決定しました。



付託議案を慎重に審査する委員

文教厚生常任委員会

日 時 平成28年9月9日(金)

市長提出の7議案と2件の請願を審査

委員会の審議結果

■賛否のあつた議案
議案第74号 上野原市立保育所条例及び上野原市立認定子ども園条例の一部を改正する条例制定について

上野原第一保育所・上野原第二保育所及び島田保育所を閉所し、上野原こども園を開園することに伴い、条例を改正する必要があるため、上野原市認定こども園条例に上野原こども園の名称や位置を加えるものです。

異議がありましたので、起立採決した結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。

■その他、委員会に付託された議案6件及び請願2件については、いずれも異議なく全会一致で、原案どおり可決・採択すべきものと決定しました。

平成28年第3回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案

(◎賛成討論者 ●反対討論者 ○賛成 ●反対)

議案番号	案件名	付託委員会	遠藤美智子	川田好博	久嶋成美	東山洋昭	村上信行	小俣修	川島秀夫	杉本公文	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果	
74	上野原市立保育所条例及び上野原市立認定こども園条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生	○	◎	○	○		○	○	○		○	○	○	○			○	○	原案可決
91	平成27年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	○	●	●	○	—	○	○	◎	欠	○	○	○	○	議長		○	○	
95	(仮称)上野原市総合福祉センター建設工事請負契約締結について	総務産業	○	●	●	○		○	○	●		○	○	○	○			○	○	
請願1	所得税法第56条廃止の意見書の提出を求める請願書	総務産業	●	◎	○	●		●	●	○		●	●	●	●			●	●	不採択

※村上信行議員については、辞職のため議決権がありません。

※請願1号の討論(上段)は、委員会報告(不採択にすべきもの)に対して行われたもの。下段は原案に対する表決。

◆全会一致の議案

番号	付託	案件名	結果	番号	付託	案件名	結果
73	総務産業	上野原市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	88	総務産業	平成28年度上野原市小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
75	文教厚生	平成28年度上野原市一般会計補正予算(第1号)		89	総務産業	平成28年度上野原市秋山財産区特別会計補正予算(第1号)	
76	文教厚生	平成28年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)		90	総務産業	平成28年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)	
77	文教厚生	平成28年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		92	決算特別	平成27年度上野原市病院事業会計決算認定について	認定
78	文教厚生	平成28年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第1号)		93	決算特別	平成27年度上野原市病院事業の資本金の額の減少について	原案可決
79	総務産業	平成28年度上野原市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)		94	総務産業	上野原市道路線の変更について	受理
80	総務産業	平成28年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		96	—	平成27年度上野原市継続費精算報告書の報告について	
81	文教厚生	平成28年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)		97	—	平成27年度上野原市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	採択
82	総務産業	平成28年度上野原市大目財産区特別会計補正予算(第1号)		請願2	文教厚生	「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める請願書	
83	総務産業	平成28年度上野原市甲東財産区特別会計補正予算(第1号)		請願3	文教厚生	教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	原案可決
84	総務産業	平成28年度上野原市巖財産区特別会計補正予算(第1号)		請願4	総務産業	「東日本大震災自主避難者への支援拡充を求める意見書」の提出を求める請願	
85	総務産業	平成28年度上野原市島田財産区特別会計補正予算(第1号)		発議2	—	「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかな制定を求める意見書(案)の提出について	許可
86	総務産業	平成28年度上野原市上野原財産区特別会計補正予算(第1号)		発議3	—	教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書(案)の提出について	
87	総務産業	平成28年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)		発議4	—	東日本大震災自主避難者への支援拡充を求める意見書(案)の提出について	当選
			選挙4	—	議員辞職の件 村上信行議員より9月26日付で辞職届が提出され、許可されました		
					山梨県東部広域連合議会議員の補欠選挙 当選人 杉本友栄議員		

高校生 市政を学ぶ!

特別企画 vol.2



熱心に傍聴 政治への関心を高める高校生

6月定例会の本会議傍聴に続き、9月20日、上野原高校生20名が授業の一環として決算特別委員会を傍聴しました。高校生たちは、市民が納めた税金がどのように使われたのか、メモをとりながら意欲的な姿勢で、議員の質問に対する市の担当者の答弁に耳を傾けていました。

A Q

上野原の好きなところ

■東京に近い ■自然が豊か ■癒されるまち ■酒饅頭など名物がある ■長寿 ■伝統を継承し大切にしている

やりとりが面白かった
いくのだなと思えました ■意見の
や情報不十分なことが直されて
になった ■このようにして悪い所
ない議会の様子がわかり良い機会
ている存在を知った ■普段見られ
す ■市民のために陰で支えてくれ
性議員は少数でも強く憧れま
思っていたより少数だった ■女
■言葉が専門用語で難しかった ■

A Q

傍聴して感じたことは

■あまりよく知りません(多数)
■市民の代表 ■市の資金について
話し合う場所 ■討論する場所

A Q

議員や市議会の事を知っていますか



高校生の皆さんにアンケートに答えていただきました!

A Q

上野原高校のPRを

■ドリカムシステム(※)があり、一人ひとり将来について真剣に考えています ■礼儀正しく先生と仲が良い ■吹奏楽部が西関東出場しました ■部活と勉強が両立できる ■挨拶がしっかりできます

■老後は地元に住みたい
憧れなので一度出て戻ってきた
どちらでもよい ■都会に住むのが
その他 3名 ■就職先によるので

A Q

将来、上野原に住みたいです

YES 10名 ■自然に囲まれ生きたい ■住みやすい ■遠くは嫌いな
住心地良くストレスが溜まらない
■実家を継ぎたい ■治安が良い
NO 7名 ■色々な施設など充実している東京に住みたい ■東京で働きたい ■見たことのない景色や文化を感じたい

※ドリカムシステム
夢の実現を目指し努力する取り組み

アンケートは、紙面の都合により一部を掲載しています。
高校生から貴重なご意見をいただき、今後は議会としても議会活動について積極的にPRしていくよう努めてまいります。



山口好昭
議員

人々が集う魅力あるまち
づくりについて

質問 高齢化時代における福祉・保健の充実策、老人福祉センターにかかわる総合福祉センターの機能は。

答弁 福祉センター事業は平成30年4月のオープンを目指し工事をスタートしたいと考えます。老人福祉センター機能だけでなく、健康・福祉・介護・子育て支援等を包括的に支援出来る体制を整備し、ワンストップで市民サービスに繋げてまいりたいと考えています。来年4月開所します（仮称）上野原保育所とは、子育て支援センター機能との連携を図ります。子供を授かる前から、また授かってからの相談、更には子供の成長過程での母子相談や子供の居場所の提供など、子供から高齢者、障害のある人もない人も共に集い活用出来る施設と考えております。施設概要ですが、建設場所は、旧病院駐車場の跡地で地上3階建て1階には市地域包括支援センターと各種行政サービスを繋ぐ福祉・保健・介護等の事務室、また地域福祉を担う社会福祉協議会が入り、老人クラブ活動や地域づくりを推進します。2階には、老人福祉会議室・老人クラブ活動室・男女の浴室・診察室・検査室・健康相談室・ラウンジ等を、3階には教養娯楽室・機能回復訓練室・運動指導室・会議室・図書室を配置する予定です。

施設と考えるおりに

質問 少子化時代における子育て支援の充実策、厳こども園を新設したがその成果と現状は。

答弁 福祉保健部長 市立保育所の統合については、保育所適正審議会の答申を受け、平成26年4月には厳・大目・甲東地区をグループとして保育所を開設し翌27年4月には、県内の公立施設初



の認定子ども園に移行し厳こども園として運営を開始し、また併設した子育て支援センターは、親子が気軽に交流出来る場として事業展開をしております。大変好評を頂いており厳こども園の開設当初の利用定員は90名でしたが開設時から利用者が増加し、現在は110名の定員として保育事業を実施しています。来年4月には（仮称）上野原保育所が開設されますが保護者に期待されることと思っております。



杉本友栄
議員

県営中山間地域総合整備
事業について

質問 全国的に野生鳥獣被害が深刻化、広域化されている中で本市においてはこの整備事業を取り入れて、秋山・鶴島地区に鳥獣害対策として防止柵を設置しているが、その他地域における防止柵はどうなっているか。

答弁 経済課長 小動物による被害対策として箱わなの貸し出し、また鳥獣巡視員による見回り、箱わなの設置を行い、大型の動物による被害対策として上野原市鳥獣被害対策実施隊による年間を通しての駆除活動をお願いしています。

以前新聞報道で、

質問 以前新聞報道で、東部猟友会上野原支部が告訴されたが、その後はどうなっているか。

答弁 経済課長 産業奨励助成金及び特定鳥獣適正管理事業補助金における東部猟友会上野原支部の収支報告書に対して使途不明金とする告訴状を、甲府地方検察庁に業務上横領罪で提出した等の関連の質問がありました。監査委員の監査も受けたところ使途不明金の指摘はありませんでした。猟友会からの報告によりまず、検察庁による審査の結果、不起訴という報告を受けています。

今後の鳥獣害対策

質問 今後の鳥獣害対策は。

答弁 経済課長 市鳥獣被害対策実施隊による駆除活動は必要不可欠です。今後もご理解ご協力を頂きながら事業を推進していきたいと思っております。





長田喜巳夫

議員

その他質問

◆地方創生加速化交付金事業の状況について



東山洋昭

議員

その他質問

◆市看護師等修学資金貸与条例について

地方創生について

質問 人口ビジョン計画を推進するにあたり、現在の年齢別構成と課題は。

答弁 企画課長 9月1日現在の状況は、0歳〜15歳未満の年少人口は2268人、15歳〜65歳未満の生産年齢人口は1万4013人、65歳以上の老年人口は7996人、合計2万4277人となっています。構成比は年少人口9・34%、生産年齢人口57・72%、老年人口32・94%で課題は出生数が少ないことと20代30代の転出が主な要因と

思います。

質問 当市の過去10年の人口出生率と県の状況は。

答弁 企画課長 市の出生数はここ数年120人程ですが10年前と比較すると50人程少なくなっています。出生率は平成15年〜19年の平均が1・22、20年〜24年が1・19です。県平均の1・36、1・39を下回っています。

質問 課題解決に向けては、I・J・Uターン（移住）と東京圏から人の流れをどうつくれるかということになりませう。

答弁 企画課長 出生奨励費、祝金事業、子育て医療費無料化事業、第3子以降の保育料無料化事業などを掲げ、子育てしやすい環境の整備により出生数の増加を目指しています。

質問 総合戦略の高齢者の健康、仕事、生きがいについては、現在元気い

きいき教室が開催されています。大変好評であり次年度以降も継続が必要ですが考えは。

答弁 長寿健康課長 介護保険事業として継続していきま

す。枠組みについては現在検討しています。

質問 まちづくり、地域づくりは多くの人の参加が必要で

す。地域と行政が連携の中で進めることが極めて重要で

す。魅力的なまちにすることが問

われています。住んでよし、訪れてよしのまちづくりです。どう住民と連携、協働を図るか伺う。

答弁 企画課長 まちづくりは行政だけでは行政としてできないことを支援していきま

す。

質問 「ごみ問題懇話会」を立ち上げることは非常に重要なこと

です。設置後は議会も含め議論を進め、上野原市の未来のために方針を決定し、実行に移すことを強く要望し

ておきます。また、直近の3か年で毎年約1億円

ずつ修繕費がかかっています。

質問 3月定例会で正規保育士の採用についての考え方を聞きました。市

長は現在の財政状況からい

っても非常に厳しい、しかしながら大局的な立場から、市の将来の方向を見据え、それらを加味して検討し前進していきたいと答弁して

いますが、

答弁 総務部長 議員のご質問の中にもあるとおり、3月の市長答弁で方向が示されています。現在、福祉課を中心に保育士について

も、今後の運営を見据えた中での採用の準備を進めているところ

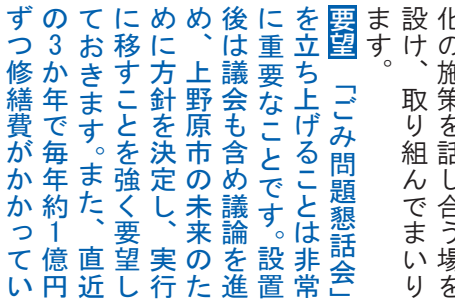
です。



が極めて重要で、魅力的なまちにすることが問われています。住んでよし、訪れてよしのまちづくりです。どう住民と連携、協働を図るか伺う。

答弁 企画課長 まちづくりは行政だけでは行政としてできないことを支援していきま

す。



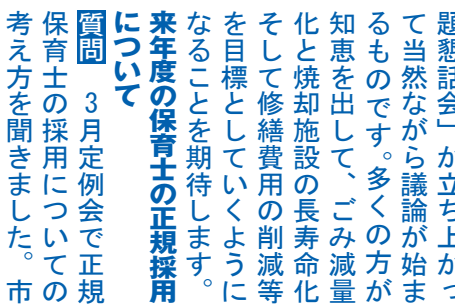
質問 「ごみ問題懇話会」を立ち上げることは非常に重要なこと

です。設置後は議会も含め議論を進め、上野原市の未来のために方針を決定し、実行に移すことを強く要望し

ておきます。また、直近の3か年で毎年約1億円

ずつ修繕費がかかっています。

質問 3月定例会で正規保育士の採用についての考え方を聞きました。市



ます。大きな要因として

の一つが樹木、いわゆる伐採剪定枝、剪定をしたその木をそのまま上野原市の基準ですと30cm程度ほどに切ったものを一般ごみと一緒に出したり持ち込んでいます。このリサイクル、再利用、これも本当に大事なことではないかと思っています。それによって、焼却施設には行かず、高熱のために炉を壊すようなこともない。修繕費も今ほどかからない、炉の延命ができる。今回この「ごみ問題懇話会」が立ち上がって当然ながら議論が始まるものです。多くの方が知恵を出して、ごみ減量化と焼却施設の長寿命化そして修繕費用の削減等を目標としていくようになることを期待します。

質問 3月定例会で正規保育士の採用についての考え方を聞きました。市



長は現在の財政状況からい

っても非常に厳しい、しかしながら大局的な立場から、市の将来の方向を見据え、それらを加味して検討し前進していきたいと答弁して

いますが、

答弁 総務部長 議員のご質問の中にもあるとおり、3月の市長答弁で方向が示されています。現在、福祉課を中心に保育士について

も、今後の運営を見据えた中での採用の準備を進めているところ

です。



川田好博
議員

防災対策について

質問 台風9号によって秋山地区桜井に避難勧告が出されましたが、避難者は何名か。

答弁危機管理担当課長 避難者はいません。避難所には職員3名のほか、消防団員3名ほかが待機しました。

質問 避難勧告が出たのに避難者ゼロは問題とと思うが。

答弁危機管理担当課長 危急の場合、広報車や戸別訪問などで注意を喚起したいと思います。

質問 避難行動はそれぞれの地域の状況にあったものが必要では。

答弁副市長 避難については日頃からのようにすればいいのかが行政の方からも伝えていく必要があると思います。

質問 地震対策で震度6弱の被害予測は、死者125名、建物の全半壊は約4500棟で間違いないか。

防災危機管理担当課長

間違いありません。
質問 大災害で市道が壊した場合の復旧の財源は。

答弁企画課長 国庫負担が3分の2、残りの3分の1は、現年度であれば100%充当の起債で、償還時95%が普通交付税に算入されます。

質問 実質の地方の負担は1・7%だが、コモアブリッジが被災した場合の負担はどうなるか。

答弁建設経済部長 被災した場合は災害復旧については地元と協議していきたいと思えます。

四方津駅周辺バリアフリーについて

質問 四方津駅周辺のバリアフリー化の現状は。

答弁都市計画課長 JRから提示された3案は、駅舎と改札口を現在の跨線橋の高さに設けるもので

す。歩道橋と直接結ぶことが前提です。国道の詳細設計が終われば、市の

計画を検討します。

質問 市の計画が決まった後、いつまでに事業を完成させるのか。

答弁都市計画課長 32年度完成を目標に努力したいと思えます。

子育て支援について

質問 桐原保育所については来年度地元の意向を聞きながら検討することよいか。

答弁福祉保健部長 そのとおりです。

質問 保育所職員の採用や処遇の改善は。

答弁福祉保健部長 今後

も改善を図りたいです。



遠藤美智子
議員

食品ロスの削減について

質問 食品ロスとは、食べ残しや賞味期限切れなど本来、食べられるのに捨てられてしまうことをいう。発展途上国では栄養不足のため5歳になる前に命を落としている子どもが500万人いる一方で、日本では年間1700万トンの食品が廃棄されている。食品ロス削減のため、どのような取り組みをしているか。

答弁生活環境課長 クリーンセンター内で生ごみの堆肥化を実施し、週1回堆肥を無料配布と電動ごみ処理機等、購入の一部を助成しています。

答弁学校教育課長 食育・環境教育の取り組みとして、地場農産物を活用し、生産者の努力や食に対する感謝の念を育み生産者と共にふれあい給食会を開催。沢松幼稚園では好き嫌いをなくすこと、残さず食べることを指導しています。5月か

ら給食の時間に、食にまつわる手話を覚え「おいしい」「おなかいっぱい」などの手話を覚えていきます。

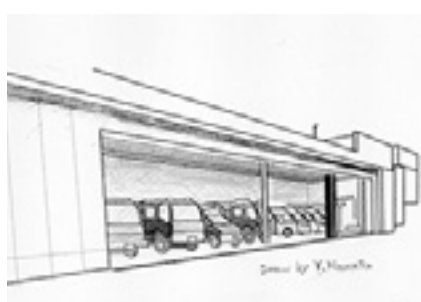
食品廃棄物の中で、家庭からの生ごみが約半分を占めている。生ごみ減量のために市民がもっと利用しやすいようにコンポストの助成制度等の周知徹底を。更に食に関わる事業所等との連携で、当市独自の食品ロス削減の具体的な取り組みを要望します。

答弁生活環境課長 3月策定の「ごみ処理計画」では、特にごみ問題懇話会の立ち上げ、市民・事業者・行政が一体となつてごみの減量化に取り組んでいきます。

答弁市長 ごみの減量、それに関わる費用も、財政の厳しい当市にとってプラスになるように、今後は先進的な自治体を参考にして、職員と市民が一緒になり、ごみの減量につながる取り組みをしていきたいと考えます。

ごみの減量化について

質問 直近の26年度の当市の可燃ごみの量は(丹波山・小菅村を含む)8726トで、ごみ処理費が約3億9000万円となっている。18年より一般廃棄物処理基本計画の策定で、ごみの減量化に取り組んできたと思うが、焼却施設の老朽化もあり、今後のごみ処理のあり方を、更に検討する必要があると思うが。





小俣 修 議員

その他質問

◆立地適正化計画について

委託業務等役務の入札価格について

質問 委託業務等役務の入札については、大手企業が独占するのではなく、市内中小企業も落札できるような仕組みが望ましいと思う。そこで入札価格について、最低制限価格を設定してはいかがか。不毛な値下げ競争に歯止めをかけ、市内中小企業にも落札の機会が増えるのではないかと思う。最低制限価格導入の提案について、どのように考えているか。

導入の可能性や、運用方法などについて検討を始めており、他市町村等の調査を行う中、具体的な検討を進めたいと考えています。

市営プールの利用について

質問 市営プール利用に関する条例について、小学3年生以下が利用する場合どのようになっているか。

答弁 社会教育課長 上野原市立上野原スポーツプラザ施行規則5条2項に随伴は小学校1年生及び2年生にあつては、付添1人につき2人とし、未就学児にあつては付添1人につき1人とするとなつています。

他市町村の公営プールの利用に関する条例はどうなっているか。

答弁 社会教育課長 近隣市町村の条例は、小学生未満の人は保護者の同伴保護者1人につき3人まで、または小学3年生以下



下は同伴者16才以上が必要、大人1人に付き2人までと、さまざまです。

質問 小学3年生以下1人、幼児2人の家庭も想定され、現条例は少し現実的ではないのかなと思う。他市町村を参考にこの部分を修正すべきと考えるか。

答弁 社会教育課長 市民サービスの向上、利用者の利便性に向けて、近隣市町村の条例を参考にしながら指定管理者とも協議する中で検討します。



杉本公文 議員

その他質問

◆新保育所建設について

市長の政治姿勢と公約について

質問 市長は8年前の1期目の市長選に当たり、市民の会と政策協定を結び当選したが、その協定の前提条件は、市長になれば誘惑もあるので、決して業者等から金を受け取らない事、もしそのような事があれば私が貴方を糾弾すると言い、市長からは、その様な事は絶対無いと確約を得た。その後の新聞報道では委託業者が市長に100万円を市長室で渡したとありましたが事実か。

答弁 市長 市民の会と、その様な締結はありません。新聞のとおり、ある会社の相談役が市長室に100万円を持ってきた翌日、警視庁に告発しその後、裁判、そして有罪判決になっていきます。

質問 金を持参した方に話を聞いたところ、祝儀袋に名前を書き100万円を入れ市長に渡した。

市長は、ありがとうございますなどと言い、自分の胸ポケットに入れ、その後お茶を戴き帰った。検察では、私が贈賄なら市長は収賄だと主張し、結果は起訴できないとされ略式起訴となり有罪判決は無かつたとの事です。時効だからいいじゃないかとの声もあります。約束したのに現金100万円を神聖な市長室で、なぜ受け取ったのか。

答弁 市長 これ以上答弁するつもりはありませんので、次の質問に移ってください。

質問 2件の市有地を安価で随意契約で売却した問題については、議会の特別委員会は自治法施行令に違反し無効であると断言している。また、市長は前回の市長選時、その土地を買った市と請負関係のある個人から、10万円の寄付を受けている。これは公職選挙法違反になるか。



答弁 市長 いちいちそれに細かく答弁するつもりはありません。

質問 医師会費を公費、税金で支出する事を正しいと思っているか。

答弁 市長 医師会から情報をいただいております。公金で出しても問題はないと思っております。

質問 産科、小児科医師招へいにつき、約8年間関係機関に正式な要請文書を一通も出していないのはなぜか。

答弁 市長 水面下で幾つかの大病院や民間病院にも相談しています。



川島秀夫

議員

一般廃棄物処理について
質問 人口減少に伴い、廃棄物が減少していると思っていたが、ほぼ横ばい状況でありませぬ。減量化への取り組みは。

答弁 生活環境課長 分別収集や集団回収を始め、ペットボトルや白色トレイ、ファイバーリサイクルの拠点回収、コンポストや電動生ごみ機の購入助成、クリーンセンターへの社会科見学、体験学習の受け入れ、広報やごみ収集予定表等により啓発を実施してきました。

しかし、ごみ問題懇話会や減量に対する啓発実施取り組みが不十分であったため減量計画達成に至らなかったと考えています。基本計画に則って、「ごみ問題懇話会」を立ち上げ、減量化の諸課題を早期に把握、出来ることからから実施していきたいと考えています。

要望 廃棄物基本計画が

絵に描いた餅にならないよう、一歩踏み出した対応をお願いします。
四方津駅周辺整備について

質問 周辺整備では、駅前広場や駅南側、コモアにとつてはコモアブリッジと駅に繋がるバリアフリー化が、先の駅利用者の署名の思いです。

答弁 都市計画課長 四方津駅周辺のバリアフリー化については、駅舎部分とコモアブリッジとの接続も視野に入れて検討しているが、JR東日本が実施した調査設計の成果と今年度、国土交通省が発注した四方津駅周辺の国道20号の歩道整備の詳細設計との整合を図りながら、市が発注し、現在取り組んでおります。四方津駅周辺バリアフリー化整備検討業務において、

今後、事業規模やその財源、また事業の実現性などを総合的に検討して、今年度中には市の整備方針を決定し、事業を進めていきたいと考えています。

コモアブリッジ市道化・維持管理について
質問 同じ上野原市民納税者の共有公共施設として、可能性を探る方策の組上に載せて戴きたい。

答弁 建設経済部長 多額のランニングコスト負担、事故等の対応責任、道路法上等、現状では市道化及び維持管理は困難です。

意見 UBCの現状についての認識は。

誕生しました。ところがこともあろうに、さんざん非難した前市長とも



久嶋成美

議員

情報通信基盤整備事業について

質問 UBCの現状についての認識は。

答弁 企画課長 27年度の加入状況はテレビサービス121件の減少、インターネットサービス35件の減少。長期借入金は前期より3000万円減少し8億2215万円、債務超過が5億8414万8000円です。このほかに、上野原市との合意事項を履行するため、株式の譲渡並びに新経営陣の交代に

取り組み一定の株式の譲渡を実行し、株主総会において取締役の変更も承認されたところです。
意見 UBCについては8年前多くの市民が立ち上がり長期政権、利権政権に立ち向かい、争点となった情報通信基盤整備事業の問題で江口市長は誕生しました。ところがこともあろうに、さんざん非難した前市長とも

に歩むようになり政策のあちらこちらに干渉するようになったと見受けられます。わかりやすい例が旧市立病院跡地の買収とその下の駐車場の買収です。新保育所の進路は前地権者のために作られた道路のように思われます。箱物は誰がやっても作れます。ですが、大切なのは中身です。どこまで市民のためを思っ、どこまで市民の使いやすさを考えて作れるかという事です。

(仮称)新上野原保育所について

質問 昨年の定例会の中で、24時間誰でも使える進入路の安全性について正したところ当時の部長は、道路との間にフェンスを設けると発言しているが実際は門もない。危機管理についてどう対処するのか。

答弁 福祉保健部長 危機管理に関する意見交換会を行い、保護者、地域住

民が一体となって子供を守る体制作りも必要です。特に園内の施設、設備の不備によって発生するような事故はあってはならないと考えています。



その他質問
 ◆防災、減災対策について

民が一体となって子供を守る体制作りも必要です。特に園内の施設、設備の不備によって発生するような事故はあってはならないと考えています。
意見 これから先、何か起きた時のその責任はその時の行政ではなく、これを作った時の、これを実行したときのトップの責任です。市長、よく覚えておいてください。



村上信行
議員

その他質問

- ◆上野原駅南口開発について
- ◆財政の現状把握と将来の見通しについて
- ◆議会と行政の関係について

社会教育、社会体育の振興について

質問 県は、ゆずりはら青少年自然の里について、市に払い下げ等の検討をしているというが、市教育委員会ではどのように考えているか。

答弁教育長 県行政評価アドバイザーの譲渡の判定は報道され知っています。県から正式な方針があれば慎重に対応します。

意見 市は社会教育施設が少ない。しっかり審議すべきです。

(仮称)上野原保育所について

質問 多くの他市の保育所を訪問すると、門扉があり名乗って開かれないことができる。上小も西小もそうになっている。厳保育所も新保育所もそれがなく、極めてセキュリティは不完全であるか。

答弁福祉保健部長 カメラ等抑止力を含めた機械

警備の整備を整えています。

意見 やまゆり園のような時には何も役立たないカメラによる抑止力というのは詭弁です。

質問 構内通路の通行については業務に支障のない範囲でのみ許可できるがあるが、前地権者には支障の内容は伝えてあるか。

答弁福祉保健部長 行事等があつた場合はその都度お伝えします。

質問 前地権者への関係車輛が不審車輛の見極めはどのようにするのか。

答弁福祉保健部長 厳こども園と同じようなレイアウトと認識しています。



尾形幸召
議員

NTT光ファイバー網の敷設について

質問 上野原市内には、NTTの光ファイバー網の未敷設地域があり、その地域の市民より強い要望がある。市の対応は。

答弁企画課長 8月31日に市長がNTT東日本山梨支店を訪れ、支店長と直接会談をし、要望書を手渡してまいりました。NTTとは今後、市にとつてどのような形が望ましいか、担当者間で協議をしていく予定です。

意見 NTTの光ファイバー網にあつては市内で選択肢のある地域と無い地域がある。全地域で選択肢が可能となるよう要望する。

市長就任以来各政策の取り組み、実行、成果の状況は

質問 医療、介護、福祉、保健の充実策は。

答弁市長 総合的拠点の整備が、(仮称)上野原市総合福祉センターの建

設です。総合支援体制、地域包括ケア、社会福祉及び、健診事業の充実です。

質問 子育て支援、教育環境の充実は。

答弁市長 出産奨励金の拡大、第3子より50万円。こども医療費中学3年生まで無料化、重度心身障害児の窓口無料化、第3子以降の保育料無料化等を実施しました。また、教育支援室、学力フオロアップ教室の設置等実施しました。

質問 行政・財政改革は。

答弁市長 全職員に個人及び組織目標を設定し、一般競争入札制度の原則、地方債起債残高の減額等安定的財政運営に努力しています。

まちづくり、地域づくり、産業振興は。

答弁市長 新消防庁舎の建設、防犯灯のLED化、防災行政無線デジタル化整備事業、移住定住を柱に総合戦略の推進中

です。

質問 生活基盤整備は。

答弁市長 国道20号線高入口交差点の改良工事の完成、上野原駅周辺整備事業、談合坂SIC事業など取り組み中です。

質問 次期市長選に出馬は如何に。

答弁市長 3期目に出馬します。上野原駅周辺整備、談合坂SIC、総合福祉センター建設の各事業の完成と、今後、最重要課題として取り組む総合戦略の推進に向けて誠心誠意努力します。



12 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
11/13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24 本会議	25	26
27	28 総務産業 常任委員会	29	30 文教厚生 常任委員会	12/1	2 一般質問	3
4	5 一般質問	6 一般質問 (予備日)	7	8 本会議	9	10
11	12	13	14	15	16	17

議会の傍聴にお越しく下さい!

正式な日程は、11月24日(木)開催の本会議で決定する予定です。

ご希望の方は、当日、市役所3階議会事務局受付までお越しください。(予約は必要ありません)



『輪』

上野原西中学校 吹奏楽部 顧問 芹川 由美さん
吹奏楽部 部長 小田中瑞穂さん

吹奏楽は、まず楽器が必要です。そして、楽譜の購入、楽器のメンテナンス、練習場所の確保や技術力向上のための外部講師レッスン等というようにお金がかかります。そのような中、本校は24年度に地域の財産区から高額な寄付を頂き、楽器が購入できました。

大目地区の公民館祭りで演奏させていただいた時、寄付に携わった方が「演奏を聴いて思った。未来ある子どもたちのために寄付を出そうとみんなで決めたあの時の選択は間違っていなかったよ。」とおっしゃってくださいました。

また、地域で演奏する機会を沢山作っていただくことで、生徒たちは着実に力をつけることができます。

もう一つ、忘れてはならないのが保護者のバックアップ体制です。保護者の方たちは、練習や講師の先生が来る日などは時間を作ってレッスンを見えています。我が子だけでなく、部員全員が自分の子どものように声をかけ、励ましてくれます。

そのような様々な力をいただき、子どもたちは大きな目標であった東日本学校吹奏楽コンクールの出場権を手にし、銅賞を受賞しました。全国大会という新たな場所を知ることができたこの経験は、大きな財産となります。

小田中部長は「練習はキツイことも多かったです。吹奏楽部の伝統を受け継ぐことの重さを感じ辛かったですが、卒業した先輩達や保護者の方や地域の方たちが応援してくれたから頑張れました。自分たちの力は出し切れました。」と、話しています。

議会だより編集常任委員会

- 委員長 久嶋 成美
- 副委員長 遠藤美智子
- 委員 長田喜巳夫
- 委員 川島 秀夫
- 委員 東山 洋昭
- 委員 川田 好博



表紙の写真は、上野原西中学校吹奏楽部の皆さんです。9月10日に甲府市で開かれた西関東吹奏楽コンクールに山梨県代表として出場し見事金賞を獲得、郡内で初めて東日本大会への出場を決めました。

ご指導頂いた先生、一生懸命練習した生徒の皆さん、本当におめでとうございます。日頃の活動の成果を讃えるとともに、より一層の活躍を期待します。未来を担う若者たちに拍手喝采です。